

臨床研究「重症患者における血圧の誤差に及ぼす要因の探索」について

筑波大学附属病院 ICU では、筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会の承認を受け、標題の臨床研究を実施します。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合には、担当者までご連絡をお願い致します。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

重症な患者様が入られる集中治療室では、血圧、脈拍、体内の酸素の値などをモニタリングし、異常がないか、安全な療養環境が保たれているか確認しています。集中治療室におられる多くの患者様は、動脈にカテーテルが挿入され、連続して血圧がモニタリングされるようになっています。しかし、この動脈圧はマンシェットで測定される血圧と異なる値を表すことがしばしば存在します。私たちは、そのような血圧の誤差に与える要因を調べることを目的とした研究に取り組んでいます。

この要因が明らかになることで、より安全で質の高い血圧管理を行うための手

段を考えることができると考えています。

② 研究対象者

2018年7月から2019年12月まで、集中治療室に入室され、動脈カテーテルによる血圧測定が行われている患者様を対象としています。

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2019年12月31日まで

④ 研究の方法

集中治療室に入室されて、動脈カテーテルを使用している患者様を対象とします。研究者は、患者様の血圧を測定します。同時刻に測定された血圧にどの程度差があるのか、また、どのような要因が影響しているのか、疾患や使用している薬剤などのデータを収集させていただきます。

⑤ 試料・情報の項目

観血的動脈圧 (ABP)、非観血的動脈圧 (NBP)、年齢、性別、重症度スコア、並存疾患、診療科、在室日数、BMI、使用薬剤 (循環作動薬、降圧薬、鎮静剤、鎮痛剤)、不整脈の有無、鎮静スコア、せん妄スコア

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者

筑波大学 医学医療系 救急・集中治療医学
教授 井上貴昭

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者様やご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：ICU 看護師 大内玲

電話・FAX：029-896-7286

（対応可能時間：平日 9-17 時）